



交通事故のない横浜を目指して

いよいよ師走です。皆様如何お過ごしですか？

先日、市内の港南区で高齢者の運転による交通事故で小学生が亡くなりました。ご冥福を心よりお祈り申し上げます。二度とこのような事故が起こらないようにするために、私たちにできることは何なのか考えたいと思います。

横浜市の交通事故の状況は15年連続で事故件数、負傷者数は減っているものの死者数は2年連続で増えています。（下表参照）また、交通事故死者数の約半数が65歳以上の高齢者です。

	23年	24年	25年	26年	27年
発生件数（件）	14,344	13,158	12,248	10,989	10,397
死者数（人）	57	66	61	66	72
負傷者数（人）	16,866	15,428	14,377	12,815	12,132

横浜市では、横浜市交通安全対策協議が「第10次横浜市交通安全計画」（平成28年度～平成32年度）を策定し、歩道の設置や路側帯のカラー化などの道路交通環境の整備、交通安全思想の普及徹底などに努めています。

今回の事故現場の道路は、スクールゾーンで路側帯を緑色に塗る「グリーンベルト」を設置し、ドライバーに歩道として認識しやすいように対策していましたが、一方通行で道幅が狭い上、交通量も多く、ガードレールは設置されていませんでした。

もう一つ注視すべきは、今回の加害者は87歳の高齢者で認知症の疑いがあることです。横浜市としても交通安全に全力を挙げて取り組まなければなりません、インフラ整備での安全対策には限度があると思います。やはり、高齢ドライバーの免許制度改革にも踏み込まなければ、このような悲惨な事故は無くならないように思います。この事故を見て、まだまだ車を運転しようと思っていた高齢のご住職が運転免許証を自主返納し、運転に自信がない高齢者の方は運転免許証を返納するよう話しておられる様子をニュースで観ました。来年3月には道路交通法が改正され、※1 臨時認知機能検査制度が新設されますが、制度の導入で少しでも高齢者の事故が少なくなればと思います。

運転免許証保有者は、市内220万人、県内550万人。高齢者の保有者は18%。高齢者だけでなく、私を含め車を運転する人なら、誰でも死傷事故を起こす可能性があります。車を運転するのであれば、安全運転を常に意識しなければなりません。最近では、スマートフォンで自分の運転のクセを診断し、安全運転のサポートをしてくれるアプリもあります。運転する時はスピードを出し過ぎず、自転車に乗る時、そして何より歩いている時も最大限の注意をする。交通安全対策は市民と行政が力を合わせ、街全体で取り組まなければなりません。

年末年始は普段よりも慌ただしく交通事故が起きやすくなっています。運転する方もしない方も、くれぐれも交通事故には気をつけていただきたいと思います。

今年も一年間、古川なおきレポートをお読みいただきありがとうございました。どうぞ良いお年をお迎えください。

横浜市議会議員 古川 直季

※1 「臨時認知機能検査制度」：75歳以上の運転免許を持っている方が「認知機能が低下した場合に行われやすい一定の違反行為（18基準行為）」をした場合、臨時的認知機能検査を受けることとなります。

運転する必要性
見直しませんか？

お出かけ
楽しみたい！

病院
健康第一！

買い物
荷物運び
生活のため必要

公共、民間、NPOや地域等の代替受け皿もあります

- 移動サポート
コミュニティバス等
- 往診サービス
- 配食サービス
- 移動販売
- 宅配サービス

運転が好き
楽しみは大切

車の安全性は向上していますが、
あなたは安全運転を心がけていますか？

技量に自信がある

本当に？

- 医療的チェック
- 安全運転レベル診断
- 免許自主返納
- 周りの意見は？

古川なおき
プロフィール

県立希望ヶ丘高校・明治大学 卒業/明治大学公共政策大学院 修了/横浜銀行勤務後、衆議院議員秘書
平成7年4月 横浜市議会議員初当選(26才最年少) /自民党横浜市議会議員団所属
平成28年 温暖化対策・環境創造・資源循環委員会/孤立を防ぐ地域づくり特別委員会副委員長
横浜市会FCキャプテン/希望ヶ丘高校同窓会桜蔭会理事/旭区サッカー協会顧問
旭区スポーツダンス協会顧問/旭区卓球協会顧問/旭区食品衛生協会顧問/旭区剣道連盟顧問



ことは【18歳選挙権】が導入され初めての参院選(2016年7月)がありました。

横浜市青葉区では、18歳の投票率が73.49%を超えた投票所がありました。
※全国平均は51.17% (総務省調査)



1人でも多くのみなさまに、市政に関心を持っていただきたい！ そのきっかけとなれば！！
という気持ちで、「古川なおきレポート」を発行しています。そんな中、今年1月と2月に星槎国際高等学校からお声がけいただき、高校生みなさまに向けて「選挙について」お話をさせていただく機会がありました。

【18歳選挙権】に向けた特別授業『選挙について』

※2016年1月7日と2月1日に、星槎国際高等学校にて高校生を対象に開催

第一部は、古川から選挙の意義や仕組みなどの説明。第二部は、古川事務所の大学生チームから「なぜ選挙が大切だと思うか」をお話しさせていただきました。



皆さんより、ちょっと年上なだけなので、皆さんが共感できるお話ができればなあと思います。よろしくお願いします！



皆さんと同じ年の頃には政治には興味が無かったけど、やっぱり行ったほうがいいなと思うようになりました。たとえば、東京オリンピックの新国立競技場 A 案か B 案どちらにしようとか、集団的自衛権だったら、万が一ミサイルが落ちてきたらどうするの？とか。アベノミクスでいうと、お父さんお母さんのお給料が関わってくるかも？とか。難しそうで遠く思うものも、実際には自分たちの生活に関わってくる可能性があるんですよ。じゃあ誰がそういう問題を考えているのか、直接的には政治家なんです。そして、政治家を選んでいるのは？というと、ぼくたち国民なんですよね。だから、しっかり選挙に行って、政治家を選ぶことは大事だと僕は思うんです。



母が日本人で、父がイギリス人のぼくは、自分の家をイギリスみたいにレンガ造りにしたいと思ったけど、地震が多発する日本ではだめと言われて叶いませんでした。地域によって10階建ての家はだめ、地下を作るのもだめとか、そんなことも法律で禁止されているのかと知りました。また、この場所に大きなスーパー作ったらいいのになあと思っても、制度でだめなこともある。家を立てること、働くこと、食べることを、何をしても、政治が関わってくるのだと気づきました。民主主義を成り立たせて、みんなが仲良く生きていくためには、ひとりひとりが勉強して選挙に参加して、応援する候補者やそれ以外の候補者の意見も聞いて社会人として責任を果たしていくが重要だと思っています。



民主主義を分かりやすく考えると・・・

例えば、横浜市は日産スタジアム作るのに600億円をかけたんです。当時の横浜市の人口は350万だったと思うんですが、計算したら一人当たり17,000円なんです。一人当たりそのお金を出して競技場を作るって事を、横浜市みんなで決めたってことになっちゃうのが民主主義なんです。高校生がバイトすると自給900円ぐらいかな？17,000円稼ぐのに20時間ぐらいかかるよね。週2でバイト入って2週間ぐらいかかる、そのバイト料を日産スタジアムのために使ったことになるんだよね。それを決めたのは当時の市議員とか市長さんなんだよ。その人たちに何かい言いたい！なと思ったら、できることは選挙なんだ。僕の20時間分のバイト代の使い道を考えると何か言いたい。だから選挙に行くのは重要なんだよね。文句を言うなら投票行かなきゃね。



日本で一番大きなスタジアムの「2002年サッカーワールドカップ」の経済効果としては、観戦客・メディア関係者、イベント参加者など合計約83万人によって横浜市内で消費された額は、総額133億円。また、「横浜」の国際的知名度アップ、国際交流の促進、市民スポーツ振興、青少年の健全育成など、お金にかえられない価値も生み出しました。その後も国体で使われたり、子どもたちの運動会・体育祭も行われたり、そして、ラグビーワールドカップ2019の決勝戦や、2020年東京オリンピックのサッカー会場としても使われることが決まり、新たな経済効果をもたらしてくれます。私は、600億円以上の価値をこれからも生み出してくれる、そういう価値があると思っています。

あんな競技場は作らなくてもよかったという意見の人もあるし、私の意見に賛成の人もいるでしょう。政治というのは議論をして決めていく権限を持たされているので重要です。だから、政治に参加するために選挙があるのです。政治に文句を言う前に選挙に行きましょう。



お気軽にご連絡ください。

FAX: 045-366-9700 / TEL: 391-4000

E-Mail: jm@furukawa2002.com

みなさまのご意見をお待ちしています！

古川なおき政務調査事務所

〒241-0825 横浜市旭区中希望が丘 199-1
希望ヶ丘駅より徒歩6分

